

少しずつ園での生活に慣れて、自ら好きなおもちゃに手を伸ばし遊び方を考えたり、保育者と一対一でわらべうたをする、にここと可愛らしい笑顔を見せてくれます。また、表情やしぐさで思いを伝えようと表現してくれる姿が見られます。子どもの気持ちや思いを受け止め、一緒に楽しいことを共有することで、安心して遊びを楽しみ、過ごせるようにしていきたいと思えます。

また、疲れや気候の変化により体調を崩しやすい時期であるため、一人一人の健康状態を見ながら過ごしていきたいと思えます。

### わらべうたについて

あかねこども園では岩手県の遠野に伝えられている「わらべうた」をして遊んでいます。人間としての基本や、人とのつながりを作っていく知恵を「わらべうた」の遊びを通して楽しんでいます。いくつかわらべうたがある中で2つのわらべうたをご紹介します！ぜひお家でも楽しんでみてくださいね！

#### かっこうえだあ

- 「かっこう」は隠れること
- 「えだあ」はここに居たということ (遊び方)

「かっこう」と両手で顔を隠してから、「えだあ」で両手を開き顔を見せる。

これは、「隠れたよ！」「居たよ！」と、人がいない不安と、人がそばにいる安心感と二つの気持ちを体験できるあそびです。人を求める、人を探すという気持ちが育まれていきますよ。このあそびは、「かくれんぼ」にもつながっていくあそびです。



えだあ

#### ちよつちよつあわわ

「ちよつちよつ」顔を両手で隠すようにして二度たたく  
「あわわ」「あー」と声を出しながら口を三回たたく  
「かえぐりかえぐり」両手の人差し指で耳をえぐるように二度回す  
「とつとのめ」「目」をうたうと同時に両手の脛を人差し指と親指で開く。



ちよつちよつあわわ



かえぐりかえぐり  
とつとのめ



#### 子どもの姿勢について

ひよこ組の子どもたちは心も体も大きく成長する時期であり、体を支える姿勢も著しく発達していきます。立ったり、座ったり、歩いたり、しゃがんだりといった体全体を使った動きが日常生活における基本的な姿勢になってくることから、生まれてから歩行できるまでの発達はとても大切ですね。

寝返り・うつぶせ・四つん這いの姿勢をご紹介します。

#### 寝返り・うつぶせの姿勢

視界を広げ、まわりの世界に対する興味を広げることにつながります。自分から手を伸ばし「ものをさわる」「手を引っ込める」をくりかえして物の距離をはかたりすることにより、まわりのものの立体感や遠近感が育まれていきますよ。

#### 四つん這いの姿勢

保育者の呼びかけや目当ての物に向かって這いで進む姿が見られてきます。片手片足を交互に出しながら進むことで、全身の平衡感覚が育まれていきますよ。歩行に進む前の大切な発達となります。

